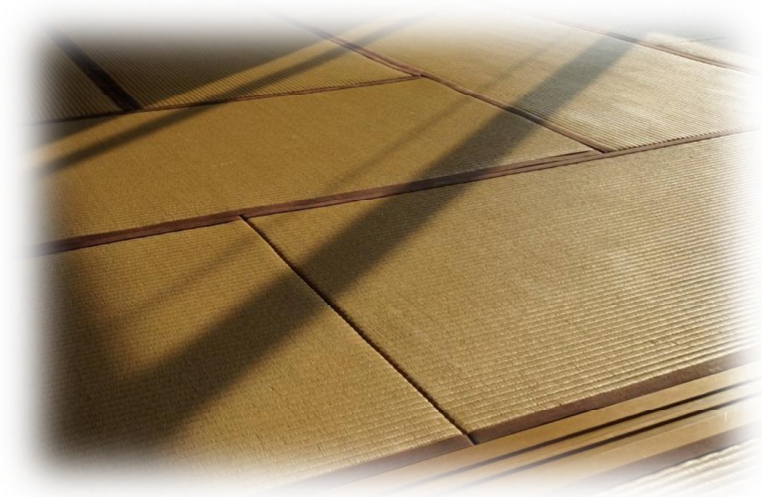


にほん　　こころ　　まも
日本の心を守る

たたみや
畳屋さん



よこはましぎのうぶんかいかん
横浜市技能文化会館

たたみや 畳屋さんってどんなしごと？

たたみ せかい れい にほんどくとく ぶんか たたみ
畳は世界に例のない日本独特の文化で、もちろん畳
しょくにん にほん
職人も日本にしかいません。

たたみ トコ よ たば しんざい ひょうめん
畳は「トコ(床)」と呼ばれるワラを束ねた心材の表面に
ま あ オモテ ふち
巻く、イグサで編まれた「オモテ(表)」、縁につける「ヘリ
ヘリ しゅるい ざいりょう ぬ あ
(縁)」からできています。この3種類の材料を縫い合わせる
たたみや おも しごと
のが畳屋さんの主な仕事です。

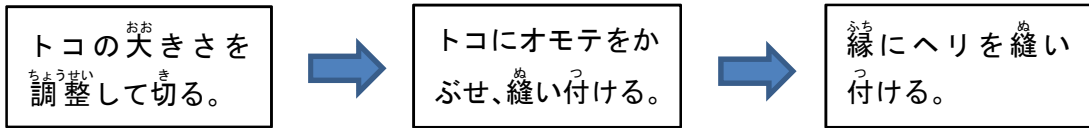
たたみ たか だんねつせい ほおんせい も しつど ちょうせい
畳は高い断熱性と保温性を持ち、また湿度の調整もして
にほん きこう
くれるので、日本の気候にぴったりです。また、オモテにつか
かお こうか
われているイグサの香りはリラックス効果があることがわか
さいきん ようふう へ や たたみ
っています。最近では洋風のフローリングの部屋でも、畳
つか ひと ふ
のベッドを使う人が増えてきています。

へ や つく ひろ おな
部屋の作りや広さはいつも同じというわけではありませ
たたみや へ や あ たたみ おお
ん。畳屋さんはその部屋にぴったり合うように畳の大きさを
ちょうせい すきま つく たたみや うで み
調整します。隙間のないように作るのが畳屋さんの腕の見
どころ
せ所です。

たたみや わざ 畳屋さんの技 その1

○ 畳の作り方

最近ではほとんど機械で作られています。しかし、細かい最後の仕上げにはいまだに手作業をすることがあります。



右が伝統的な藁床、左が最新の材料を使った化学床。



オモテ。いろいろな目の細かさがある。



へりの見本カタログ。何十種類ものなかから選ぶ。

○ 畳の大きさ

地方によって大きさが違います。皆さんの家の畳の大きさはどれでしょう。

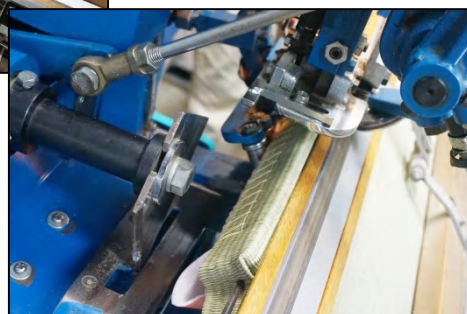
名前	大きさ	使用地方
京間、本間、関西間	3尺1寸5分×6尺3寸 (955mm×1910mm)	主に近畿、四国、中国、九州
中京間、三六間	3尺×6尺 (910mm×1820mm)	主に愛知、岐阜と一部の東北地方
江戸間、関東間、田舎間、五八間	2尺9寸×5尺8寸 (880mm×1760mm)	主に関東地方と北海道、一部の東北地方
団地間、公団サイズ、五六間	いろいろあるが、2尺8寸×5尺6寸が基本 (850mm×1700mm)	公団住宅、アパート、マンション等の集合住宅

☆日本で昔使われていた長さの単位 : 1尺=約30.3cm 1寸=約3.03cm 1分=約3mm

たたみや わざ
畳屋さんの技 その2



オモテをトコに縫い付ける作業。5センチほどのトコに太い針と糸を通すため、かなりの力がいらしますが、職人さんは軽々とやってのけます。



現在は機械でほとんどの作業を行っています。写真はオモテをトコに縫い付けているシーンです。

たたみや 畳屋さんの技 その3

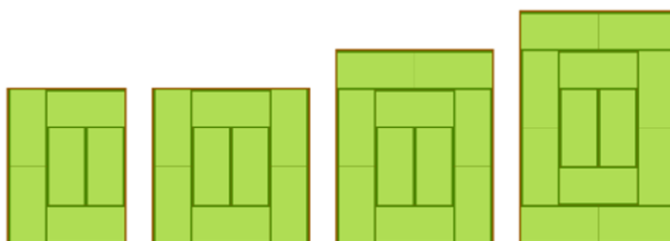
○ 畳の敷き方

敷き方には基本的に決まっていますが、畳屋さんは部屋の形によって敷き方を変えます。

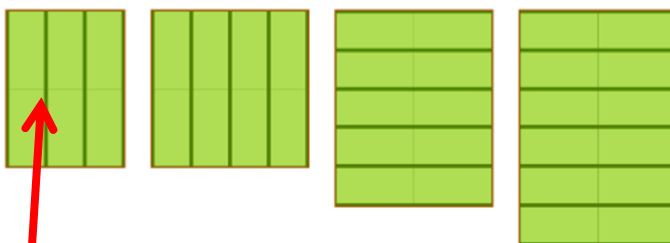
・祝儀敷き・・・通常この敷き方をする。畳4枚の4隅がくっつかないようにする。

・不祝儀敷き・・・お葬式の時のような縁起の悪い時の敷き方。

しゅうぎじ
祝儀敷き



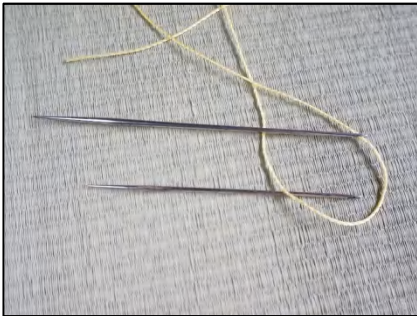
ふしゅうぎじ
不祝儀敷き



☆ 十字路のことを四つ辻といいます。昔、四つ辻は縁起が悪いとされていました。畳の角が4つつながる部分が四つ辻に見えることから、今でも縁起の悪い敷き方とされています。

たたみや 畳屋さんの道具

☆ どうぐ 道具いろいろ



たたみばり
畳針
いろいろななががあり、使い分けています。



マチバリ
オモテを固定するのに使います。同じ名前でも、お裁縫で使うマチバリとは大きさが全く違います。



ヘリシキ
ヘリを縫い付ける時に固定するのに使います。写真のものは20年使っているもので、指が当たるところがへこんでしまっています。



てあて
太い畳針を刺す時に、手が傷つかないように使います。てあての中には金属の板が入っています。畳屋さんはてあてを自分で作ります。



ほうちょう
包丁
トコやオモテを切るのに使います。手入れのときに研ぐため、使い続けると小さくなっていきます。一番小さいものは大事に70年使い続けたものです。もともとは一番左のほうちょうくらいの大きさだったって信じられますか？

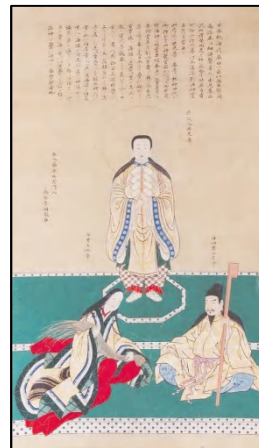
たたみや 畳屋さんの歴史

でんせつ うみ かみさま とよたまひこのみこと
伝説では海の神様である豊玉彦命と

とよたまひめ きやく たたみ かさ
豊玉姫が客をもてなしたとき、畳を重ねて

すわ はじ
座らせたというのが始まりです。そのため、

とよたまひこのみこと とよたまひめ たたみ かみさま
豊玉彦命と豊玉姫は畳の神様とされています。



たたみ かみさま
畳の神様
すわ
座っているのが
とよたまひこのみこと
豊玉彦命 と
とよたまひめ きやく
豊玉姫。お客さ
んが八角形の
はっかくけい
畳の上に立っ
たたみ うえ た
ている。

たたみ にほん ぶんか さいしよ わら かさ
畳は日本にしかない文化です。最初は藁を重ねていただけでしたが、

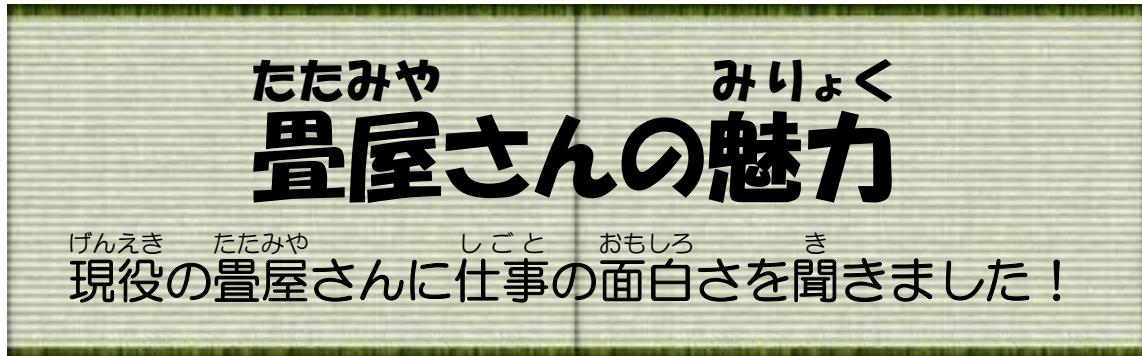
へいあんじだい たば あ しだい あつ おお き
平安時代に束ねて編むようになっていきました。次第に厚みや大きさも決めら
れていき、つか ひと みぶん いろ き
使う人の身分によってヘリの色までも決められていました。

さいしよ ひと ね すわ ぼしよ し ふとん ざぶとん つか
最初は人が寝たり座ったりする場所だけに敷き、布団や座布団のように使
ていました。それがだんだんと部屋全体に敷くようになり、むらまちじだい さどう
が流行して正座をするようになると、いっき ひろ
一気に広まっていきました。

ただし、それでも たたみ きぞく ぶし みぶん たか ひと つか
畳は貴族や武士などの身分の高い人だけが使うものでし
た。いっばんしよみん ひろ え どじだい おわ たたみ れきし なが
一般庶民に広まったのは江戸時代の終りごろです。畳の歴史は長い
すが、おお ひと つか あと
ですが、多くの人が使えらるようになるのはだいぶ後になってからなのです。

いま ようしき いえ ふ わしつ うち
そして今では洋式の家が増えていて、和室のないお家もたくさんあります。

みなさんのうち たたみ
みなさんのお家に畳はありますか？



あしはらたたみてん あしはらすすむ
☆ 芦原畳店 芦原将さん

しよくにん しごと なんねん まんぞく
職人の仕事は何年やっても満足する
ことがありません。日々修行の毎日
です。

きやく よろこ
やっぱりお客さんに喜んでもらえる
ことが一番うれしいです。

さいきん たたみ へ や うち ふ
最近では畳の部屋のないお家が増
えてきているせいか、畳に寝たことの
ない子もいるそうです。畳に寝るのは
とても気持ちがいいので、ぜひ試してみ
てください。



たいしやう ねん (1915年) のおじいさん
の代からつづいているたたみや
もうすぐ創業100年！



あしはらさんの仕事場は、イグサのと
てもいい匂いがします。

たたみや 畳屋さんになるには？

たたみや がっこう さいたまけん いばらきけん せんもん しょくぎょう
畳屋さんの学校として、埼玉県と茨城県に専門の職業
くんれんこう とちぎけん ながのけん ぎふけん
訓練校があります。また、栃木県、長野県、岐阜県、
きょうとふ かごしまけん たたみ わざ まな えら がっこう
京都府、鹿児島県には畳の技を学ぶコースを選べる学校
があります。

おも たたみや あとつ がっこう べんきょう
主に畳屋さんの跡継ぎがこの学校で勉強しています。
そこではむかし どうぐ つか つく かた たたみ つく
昔ながらの道具を使っての作り方や、畳を作る
きかい つか かた べんきょう
機械の使い方を勉強します。

こっかしかく たたみせいさくぎ の うし きゅう きゅう
国家資格として、畳製作技能士があります。1級と2級が
あり、どちらもむかし どうぐ つか てさぎょう つく しけん
昔ながらの道具を使い、手作業で作る試験を
う
受けます。

たたみ にほん こころ
畳は日本の心だといいます。

たたみや にほん こころ まも しょくにん
畳屋さんは日本の心を守る職人です。